

環境活動レポート
Environmental Report

2015

2015年4月～2016年3月

**REC
VALUE**

現場を知るプロの、先読みレンタル。



環境方針	2
会社概要	3
会社組織図 / 取り組み対象範囲	4
環境運営図/役割表	5
環境活動計画と目標	6
環境実績	7
単年度目標と実績/各支店の取組状況	8
グラフで見る環境実績	9
始めるECO活動&継続するECO活動	10~14
環境関連法規への違反、訴訟の有無	15
環境法令遵守評価結果表	15~16
代表者による全体の評価と見直しの結果	17

環境方針

＜環境への基本理念＞

NTTレンタル・エンジニアリング株式会社は、ビジネスパートナーとしてお客様のニーズに即応し、良質・低廉なサービスを提供していくにあたり、全ての過程において、地球環境保全に積極的に取り組むとともに、環境にやさしい社会の実現に貢献していくものとする。

＜企業としての行動方針＞

事業運営において、環境負荷の低減のために生産性向上と環境整備活動（業務の効率化及び業務改善）等を通じて、必要な対策、改善および予防を継続的に実施する。

1. コンプライアンスの遵守と社会的責任遂行

2. 環境に配慮した事業推進

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 総排水量の削減
- ④ グリーン購入の促進
- ⑤ レンタル事業の推進

3. 環境方針は公開し、社員一人一人に周知します。

4. 社会活動を通じての貢献します。

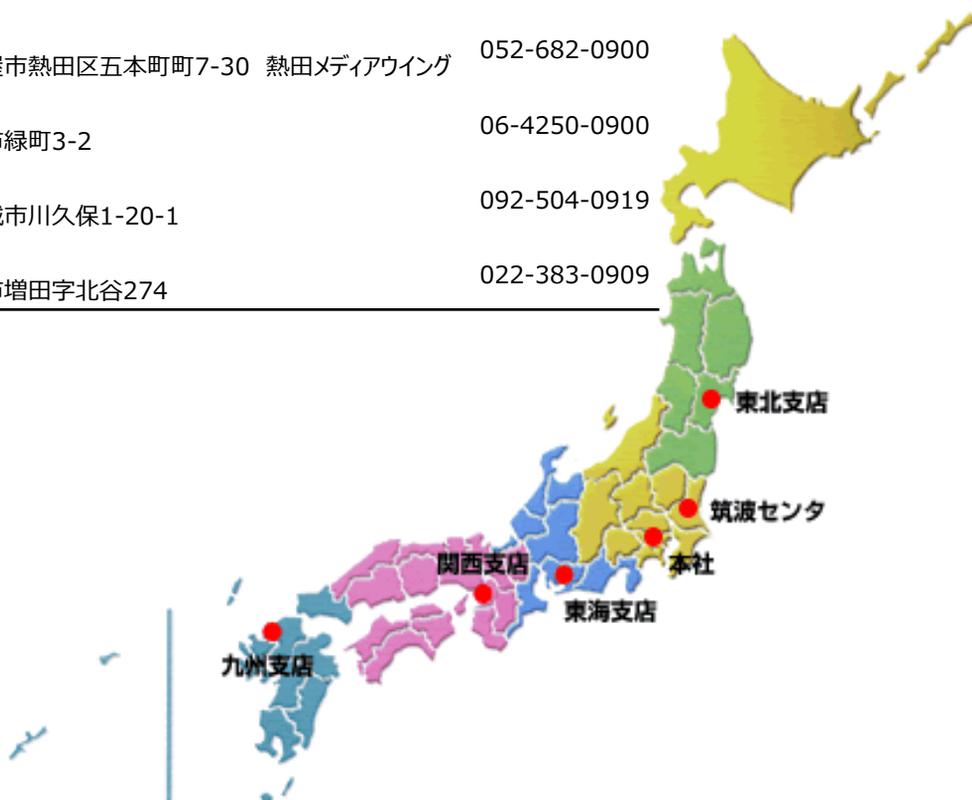
2016年5月31日
NTTレンタル・エンジニアリング株式会社
代表取締役社長

松田 淳

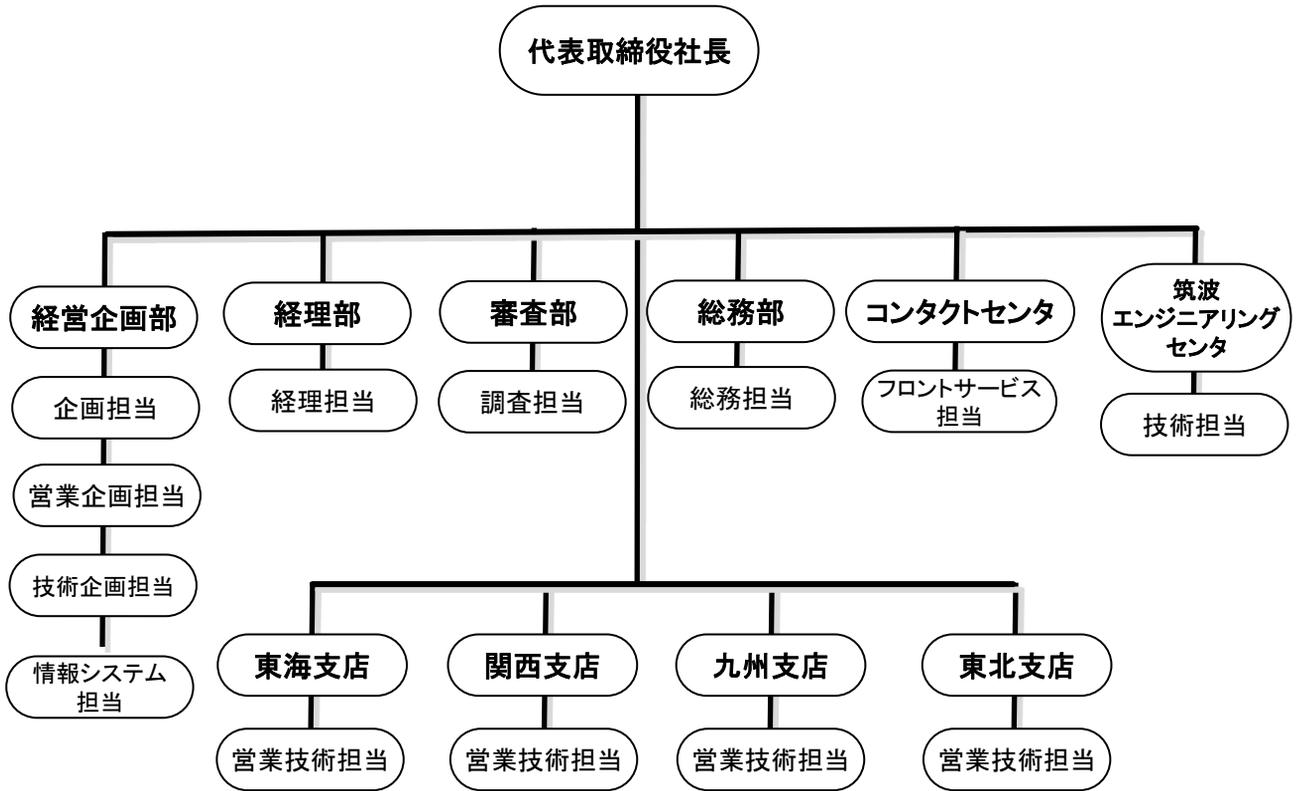
社名	エヌ・ティ・ティ・レンタル・エンジニアリング株式会社／略称：NTTREC (英文名) NTT RENTAL ENGINEERING CO., LTD.
本社設立	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目9番7号RECビル 昭和60年12月24日
代表者	代表取締役社長 松田 淳
資本金	3億8,000万円
社員数	122名(平成28年4月1日現在、契約社員を含む)
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気通信設備工事用及び保守用機器・工具、情報通信機器及び情報処理機器のレンタル、リース、販売、割賦販売および保守並びに技術指導 2. 事務用機器、輸送用機器等のレンタル、リース、販売、割賦販売 3. 1の電気通信設備用機器の運用に関する調査及び開発 4. 電気通信工事の請負 5. 不動産の賃貸及び管理 6. 前各号に附帯、又は関連する一切の業務
認証	ISO 9001 2008年度版移行 (平成21年10月) Iソアクション21 2009年版 (平成24年3月)

事業所一覧

名称	所在地	電話番号
本社	〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-9-7 RECビル	03-3862-1109
筑波エンジニアリングセンタ	〒300-0048 茨城県土浦市田中3-8-25	029-825-0003
東海支店	〒456-0016 愛知県名古屋市中熱田区五本町7-30 熱田メディアウイング	052-682-0900
関西支店	〒570-0084 大阪府守口市緑町3-2	06-4250-0900
九州支店	〒816-0905 福岡県大野城市川久保1-20-1	092-504-0919
東北支店	〒981-1224 宮城県名取市増田字北谷274	022-383-0909

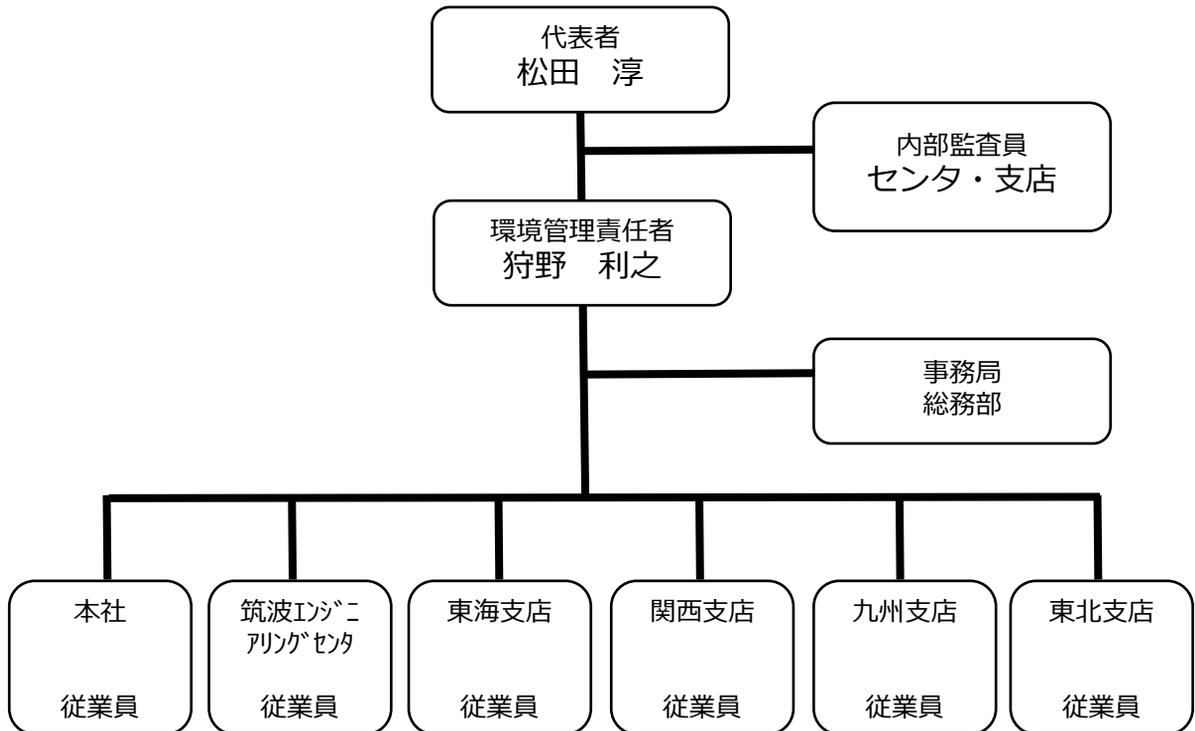


会社組織図



取り組み対象範囲

エコアクション21の取り組み対象範囲は、全組織・全従業員です。



役割表

役割	責任及び権限
社長 (代表者)	1. 環境方針の制定・誓約する。 2. 環境管理責任者を任命する。 3. 環境経営資源を確保する。 4. 全体の取組状況の見直しに必要な情報の収集をする。 5. 取組状況の評価と見直し並びに指示をする。
内部監査員	1. E A 2 1 のシステムの適合性、運用状況を監査する。 2. E A 2 1 の監査結果を代表者に報告する。
環境管理責任者	1. 社長に代わって E A 2 1 の構築・運用及び統括を行う。 2. 環境活動計画等、環境関連文書・記録を承認する。 3. E A 2 1 の実施状況を代表者に報告する。
事務局 (推進事務局) (推進委員)	1. 環境管理責任者の事務的業務を担う。 2. 環境方針、環境目標等を従業員に周知する。 3. 環境目標、環境活動計画の立案を行う。 4. 教育・訓練の実施及び外部からの環境上の苦情等の受付を行う。 5. 適用法規の調査と順法性チェックを行う。 6. 活動全般の補佐を行う。
部門責任者	1. 関連する環境目標及び活動計画の実施及び活動状況を確認する。 2. 関連する手順の作成及び運用管理を行う。 3. 緊急事態の対応手順書の作成及び対応策の試行、訓練、記録を行う。 4. 問題点の抽出、是正・予防処置を行う。 5. 関連作業に関する環境上の教育・訓練を行う。
全従業員	1. 部門の環境目標及び活動計画に参画・実施する。 2. 環境改善活動への参画し、取り組みを推進する。



環境活動計画と目標

電力使用量の削減	2014年 目標	2015年 目標	2016年 目標
<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ（室温28℃）ウォームビズ（室温20℃）による冷暖房使用抑制 ・「3UP」「4DOWN」運動の推進（フロア移動は階段を利用推進） ・年休・ライフプラン休暇等の取得促進・適正な勤務時間管理の徹底 ・未使用時の共用スペースの照明の電源OFF ・離席時のパソコンモニター消灯 ・空調機にハイブリットファン取付 ・屋上壁面緑化の推進 ・日々使用量確認による省エネ意識の徹底 等 	0.5%削減 (2013年度比) 469,950kw	0.5%削減 (2013年度比) 469,950kw	0.5%削減 (2013年度比) 469,950kw
自動車(ガソリン使用削減)	0.5%削減 (2013年度比) 10,830kg-co2	0.5%削減 (2013年度比) 10,830kg-co2	0.5%削減 (2013年度比) 10,830kg-co2
廃棄物の削減(リサイクル推進)	2%削減 (2013年度比)	2%削減 (2013年度比)	2%削減 (2013年度比)
水使用量の削減	1%削減 (2010年度比) 2,029m ³	1%削減 (2010年度比) 2,029m ³	前年度以下 (2015年度比) 2,304m ³
紙資源の削減	4.3%削減 (2013年度比) 4,412kg	4.3%削減 (2013年度比) 4,412kg	4.3%削減 (2013年度比) 4,412kg
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・「エコ検定」試験の全組織1名以上合格による環境人材の育成 			

環境目標	2011年度 実績	2012年度 実績 (前年比)	2013年度 実績 (前年比)	2014年度 実績 (前年比)	2015年度		
					実績 (前年比)	達成状況	
						前年比	目標比
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) ※1	217,238	211,055 (▲2.8%)	208,363 (▲1.3%)	203,595 (▲2.3%)	195,635 (▲3.9%)	○	○
電力CO ₂ (kg-CO ₂)	197,688	194,671 (▲1.5%)	197,426 (1.4%)	193,813 (▲1.8%)	188,308 (▲2.8%)	○	○
燃料CO ₂ (kg-CO ₂)	19,551	16,445 (▲15.9%)	10,936 (▲33.5%)	9,782 (▲10.6%)	7,327 (▲25.1%)	○	○
電気消費量 (kwh)	472,937	465,719 (▲1.5%)	472,312 (1.4%)	463,668 (▲1.8%)	450,499 (▲2.8%)	○	○
自動車燃料使用量 (ℓ)	8,397	7,030 (▲16.3%)	4,708 (▲33.0%)	4,213 (▲10.5%)	3,155 (▲25.1%)	○	○
水使用量 (m ³)	2,389	2,396 (0.3%)	2,222 (▲7.3%)	2,587 (16.4%)	2,304 (▲10.9%)	○	×
事務用紙使用量 (kg)	6,228	4,164 (▲33.1%)	4,610 (10.7%)	4,382 (▲4.9%)	4,084 (▲6.8%)	○	○
グリーン購入 (件)	624	634	524	624	936	-	-
レンタル商品の充実 (件)	78	81	93	81	43	-	-

※1kg-CO₂排出係数は平成20年度の東京電力の排出係数:0.418kg-CO₂/kw時(2009年12月環境省発表値)

年間で、水道使用量を除き、CO₂、事務用紙使用量の主要項目について目標値を達成することができました。この1年間は、エコ活動の見える化を通じ、支店長等自らが主体的にエコ活動を行い、社員に浸透した結果が事務用紙やCO₂の目標値達成に繋がったものと思います。

来年度は、これまでの達成状況を踏まえ、水道使用量を除き、前年度と同一目標を設定し、取り組むこととしました。

今年度同様、社員全員参加によるエコ活動を推進していきます。

単年度目標と実績

評価基準 ○良くてきた ×頑張りが必要

2015年	目標	実績	目標削減率	削減率	評価	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
電力削減 (kw)	469,950	450,499	▲0.5%	▲4.1%	○	102,643	122,977	96,337	128,542
燃料Co2 (kg-CO2)	10,830	7,327	▲0.5%	▲32.3%	○	2,185	1,769	2,558	815
CO2削減 (kg-CO2)	207,269	195,635	▲0.5%	▲5.6%	○	45,089	53,174	42,827	54,546
水使用量削減 (m ³)	2,029	2,304	▲1.0%	13.5%	×	517	647	500	640
紙資源削減 (kg)	4,412	4,084	▲4.3%	▲7.4%	○	1,184	1,018	948	934

1Q

2Q

3Q

4Q

エコ活動年間計画に基づいたエコ活動の見える化を推進

夏季の電力使用量が増加した為、CO2が増加傾向

2Qの結果を踏まえ、エコ意識徹底をした削減取り組みを推進

水道使用量を除き、目標を達成
社員全員がエコ活動に参加

各事業所の取組状況

評価基準 ○良くてきた △ 普通 ×頑張りが必要

2015年	本社	筑波 エンジニアリングセンタ	東海 支店	関西 支店	九州 支店	東北 支店
CO2排出量	○	○	○	○	×	×
水使用量	○	○	-	○	○	○
事務用紙使用量	○	×	○	○	×	△

※電力排出係数 0.418kg-co2/kWhを使用しています。

※東海支店については、テナントとしてオフィスビルに入居しているため電力・水使用用等は測定不能になります。

※評価は2014年度との比較になります。

取り組み結果に対する主な対策

本社…………… 目標達成⇒Web会議利用の徹底、2in1印刷の励行により事務用紙削減を推進する。

筑波エンジニアリングセンタ……………事務用紙未達成⇒両面印刷・集約印刷の徹底に努める。

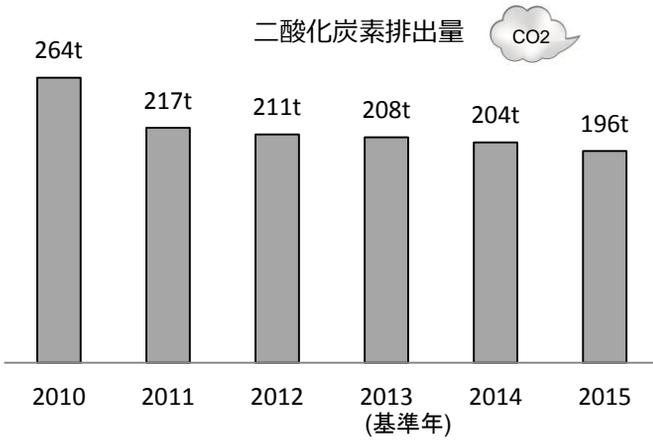
東海支店…………… 目標達成⇒CO2削減、事務用紙削減に引き続き取り組む。

関西支店…………… 目標達成⇒エコ活動の見える化に積極的に取り組む。

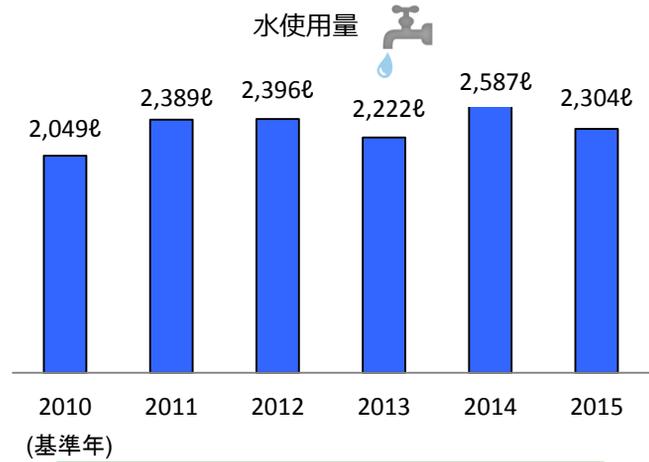
九州支店……………・CO2・事務用紙未達成⇒エコドライブの実践・Web会議の推進に努める。

東北支店……………CO2削減未達成⇒これまで電気量の大幅な削減に取り組んできたことを踏まえ現在の取り組みを継続。

グラフで見る環境実績



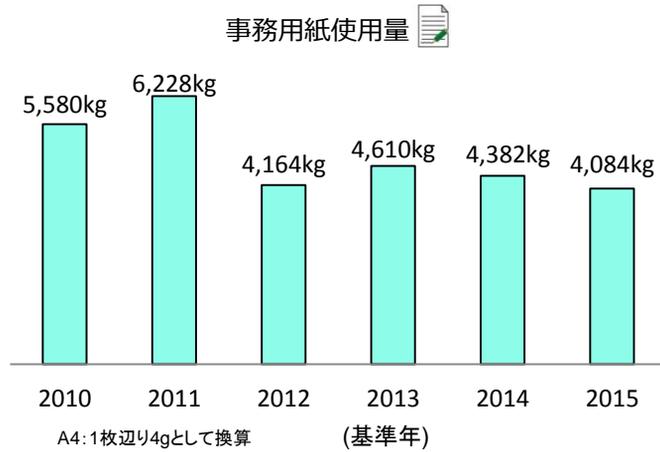
- ・屋上、壁面緑化、LED、エコドライブ運転等の施策効果で目標達成



- ・前年に比べ、微増ではありますが、目標未達成
- ・全従業員への啓発活動を推進



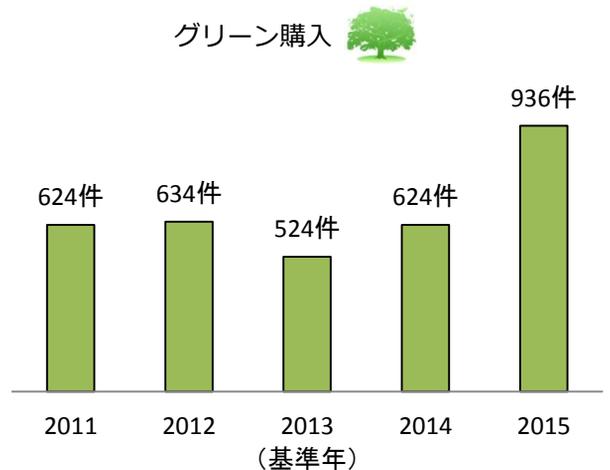
- ・早めのクールビズ、ウォームビズ等の推進を図ったため、目標達成



- ・リサイクルペーパー購入指示、縮小印刷、両面印刷、Web会議等を推進したため、目標達成



- ・ハイブリットカー導入、エコドライブ運転、同乗出張取行などの徹底を図ったため、目標達成



- ・コストリダクションの観点からNTTグループ会社を利用
- ・外部購入については環境ラベル認定品を購入するよう指示を行い、グリーン購入推進を図ったため、目標達成



温暖化対策（緑化対策によるCO2排出削減）

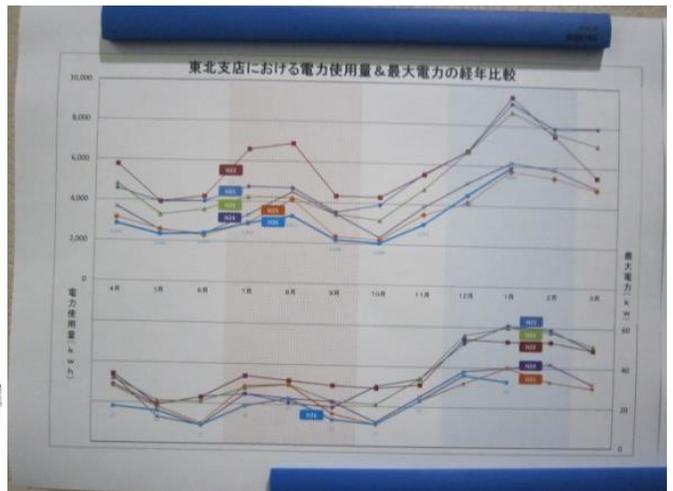
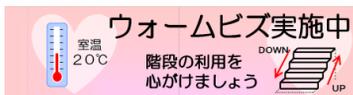
RECビルでは、日射抑制、空調負荷の低減、ヒートアイランド現象の抑制効果、植物によるCO2排出削減に取り組むため、ビル屋上及び壁面の緑化対策を実施しました。また、緑化施策では、社員参加のもと苗植えや収穫祭を実施し、社員間の一体感の醸成を推進しました。



電力使用量削減

昼食時の照明OFF、クールビス、ハイブリットファン設置、ウォームビス、カーディガン等の着用推進、毎週水曜日の時間外自粛日設定、電力使用量の見える化等に様々な取組を行っております。

ほぼ例年並みの使用量になっているが、次年度も意識啓発等を行い、電力使用量削減のため実施を続ける。



廃棄物削減(リサイクル推進)

リサイクル推進・最終処分量の削減に向け、ゴミ分別の取り組みを徹底しております。リサイクルペーパーや瓶・缶・ペットボトルの分別に加え、ペットボトルキャップの収集を実施しています。また、新聞紙類は、冊子、チラシ、新聞に細かく分別しています。身近にできるリユースの取組としてマイボトル・マイカップを利用するよう促進し、使い捨て容器のゴミを削減することができました。次年度も継続的にゴミの分別、マイボトル・マイカップ利用促進をします。



**マイボトル・マイカップの
利用促進**

マイボトル・マイカップを使うとごみが減ります。
地球温暖化防止に取り組みましょう

事務用紙購入量削減

事務用購入量削減のため、Web会議システムを導入し、ペーパーレス会議を実現しました。(副次的効果としては、出張等による時間的稼働も削減できました) また、印刷時の集約印刷、両面印刷、プリントアウト数の見える化等の促進を行いました。今年度の事務用紙購入量は増え削減には達成していないが無駄をなくす意識を持って積極的に取り組んでいきます。

【本社】複合機利用量 前年度比



- ◆モノクロコピー @ 1.8円
- ◆カラーコピー @ 14.5円

プリンターの設定を『白黒』にしましょう！

白黒印刷が基本です。



地域社会貢献

福岡地区実行委員会主催の“地球環境と地域行動”の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、力を合わせて始めた地域環境美化活動の“ラブアース・クリーンアップ2015”にNTTグループの一員としてボランティアで参加してきました



廃棄物優良事業所認定

大野城市より「ごみ減量・リサイクル」における優良事業所の認定書が届きました。そこで、ステッカーをRECビル入口に貼り、来店されるお客様にアピールするとともに、事務室にも表彰状を掲示しました。



消防避難訓練

2011年の東日本大震災以降、自然災害や火災を想定し、不測の事態となった場合でも迅速な対応ができるよう、毎年、訓練を行っております。

今年も、1月にて本社（テナントビルの方々も参加）にて避難訓練を行いました。

消防署立会のもと、初期消火班、避難誘導班、通報班の役割に沿って、通報訓練、消火訓練、AED訓練を実施しました。（各センタ・支店においても同様に消防避難訓練を実施しています）



水使用量削減

水使用量については、生活用水がほとんどを締めておりますが、屋上緑化での水使用量対策として自動灌水装置を設置いたしました。

給湯室等へ節水ステッカーを貼り水削減喚起を継続して行っています。

今年度の水使用量削減は増え削減には達成していませんが無駄をなくす意識を持って積極的に取り組んでいきます。



eco検定

環境負荷を低減し、地球温暖化を防止し、持続可能な社会の実現に向け、環境に関する知識習得と事業活動等日常のエコ活動実践に有効な取り組みとして、eco検定の取得に全社を挙げて取り組んでいます。

検定受験者へは、NTT東日本グループ全体で実施しているeラーニングの活用や弊社でオリジナルに作成したeco検定用語集、eco検定問題集を配布し、取得しやすい取り組みを推進しています。

ECO検定用語集

1. 環境用語の定義

2. 環境用語の解説

3. 環境用語の解説

4. 環境用語の解説

5. 環境用語の解説

6. 環境用語の解説

7. 環境用語の解説

8. 環境用語の解説

9. 環境用語の解説

10. 環境用語の解説

ECO検定問題集 (選択式)

1. 環境用語の定義

2. 環境用語の解説

3. 環境用語の解説

4. 環境用語の解説

5. 環境用語の解説

6. 環境用語の解説

7. 環境用語の解説

8. 環境用語の解説

9. 環境用語の解説

10. 環境用語の解説

現在の合格者数
60名



意識改革

①「エコアクション2.1推進」の取り組みを実施してまいりましたが、更なる意識改革を行うため、不定期ではありますが、機関誌を発行し、掲示をしております。掲示だけにとどまらず、四半期ごとに振り返り、分析、対策を実施しております。

②空調設備の使用開始に時間差を持たせることで、ピーク電力の上昇を抑制するため、最初の空調ONを行った時間を時間を見える化ことによって意識改革を行い、電力使用量とCO2削減に貢献しております。

NO1
2014.11.05

NTTREC 関西支店
発行責任者 宮下成之

「エコアクション2.1推進」情報

初、機関誌発行(情報共有)

■「エコアクション2.1推進」機関誌の発行(共有)
(全員で取り組むことが大きな力となります。)

■エコアクション推進委員会の開催
(1)日時：平成26年11月5日(水) 13:00 ~ 14:00
(2)場所：関西支店 研修室
(3)メンバー
推進委員：宮本部長、松之平課長、
推進メンバー：前田、山口
実行委員：岡田真、穂積

(4)議事録
「エコアクション2.1」の取り組み内容の再確認、及び第2四半期の状況を共有
(第1四半期よりも特に電気量が増加した、目標前年比▲0.5%)
→色んな取り組みは実施するも、増加要因が不明のため、再確認する。

①CO2削減
ア、電気量
イ、自動車燃費
②事務用紙削減
③水道使用量削減

・電気量、事務用紙の削減を今一度考えましょう。
全員で削減増加したのか、まず、当初の「具体的な取り組み」を確実に実施しよう
①照明器具のこまめな消灯
②空調温度の適正化(冷房温度28℃、暖房温度20℃設定)
③資料等は両面印刷の実践
④水を出しっぱなしにしない
⑤トイレの蓋を確実に閉める、土日は電源OFFの徹底
※上記内容を再確認し、意識喚起、当該の取り組みを随時行いましょう。(結論)

・その他色々な問題も出てきましたが、今後の課題として取り組んでいきます。

冬期間は、暖房空調の利用で電力使用量が増加します。空調設備の使用開始に時間差を持たせることで、電力基本料の算定根拠となるピーク電力の上昇を抑制するため、最初に空調ONを行った時間を見える化しました。

毎月の電気料金は以下により請求されています。

電気料金=電気量料金+基本料金

電気量料金：1ヶ月間の電気使用量(kwh)により算出(従量制)。
基本料金：その1ヶ月のピーク電力と前11カ月のピーク電力のうち、いずれか大きい値を契約電力とし、これにより算出。
ピーク電力：最大需要電力。30分単位の平均使用電力(kw)を算出する。1ヶ月の期間で最大の値が当該月の最大需要電力とする。

一度に複数台の暖房空調電源をONにすると、ピーク電力が一気に上昇するため、基本料金が高くなります。

空調使用開始時の電力使用量が最大化しないよう、最初の電源ON時間を見える化しました。



一昨年度から、支店内の電力使用量を抑制する取り組みを進めています。ピーク電力の抑制によるコスト削減も大切ですが、電力使用量の抑制についても、無理のない範囲で取り組みを進めていきます。

クリーンエネルギー

H27.7月に開催した「PV JAPAN」に出展いたしました。弊社では、REC Valueを通じ、クリーンエネルギー分野においても、サービス展開を積極的に実施しております。社員自らも太陽電池の知識を深めるため、社外研修等へ参加。参加できなかった社員には、社内研修を行いクリーンエネルギーの知識を深めました。



環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される主な法規は以下のとおりであり、これら環境関連法規への違反の指摘、訴訟等は、過去3年間ありません。

環境法令遵守評価結果表

法令名称	適用順守事項	条項	確認内容	点検確認
廃棄物処理方法	分別の徹底	6条	分別は実施していますか	○
	別のゴミは混じていませんか		○	
	一般廃棄物の適正な廃棄処理の委託		別のゴミは混じていませんか	○
自動車リサイクル法	廃車時の処理費用負担	73条	自動車廃棄はありましたか。 自動車廃棄あった場合、適正に処理していますか	-
リサイクル法	パソコンの長期使用、再生部品等の使用	5条	パソコンの長期使用、再生部品等の使用の該当はありますか	○
			パソコンの長期使用、再生部品等の使用があった場合の処理は適正ですか	
家電リサイクル法	特定家電製品廃棄時の処理費用負担	6条	特定家電製品廃棄時の処理費用負担の該当はありますか 特定家電製品廃棄時の処理費用負担のあった場合の処理は適正ですか	-
グリーン購入法	環境物品等の選択購入義務	5条	コピー紙は、エコマーク品購入を購入していますか	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	エコドライブの推進	4条	打ち水など環境活動に参加していますか	○
			電気量の削減に取り組んでいますか	○
労働安全衛生法	労働安全法遵守	3条	健康診断は全社員実施していますか	○
			安全衛生委員会の議事録を周知していますか	○
			衛生管理者は届け出ていますか	○
消防法	消防用設備等点検と届出	8条	消防設備の点検は実施していますか	○
	防火管理者届出		防火管理者は届出ていますか	○
			緊急連絡訓練は実施していますか	○



環境法令遵守評価結果表

法令名称	適用順守事項	条項	確認内容	点検確認
茨城県生活環境の保全等に関する条例	アイドリングストップの推進	105条	ドライブドクターを車両に設置していますか	○
	エコドライブの推進		エコドライブ実践を周知していますか	○
	公共機関利用の促進		クリーン活動は実践していますか	○
土浦市環境基本条例	廃棄物の適正処理	5条	マニフェストの保管はしてありますか	○
			県知事への報告資料は保管していますか	○
愛知県の生活環境の保全条例	公共交通機関の利用促進	76条	移動には公共交通機関を利用するよう周知しましたか	○
	自動車運転時の排出ガス及び騒音の抑制		クリーン活動は実践していますか	○
名古屋市環境保全条例	自動車運転時の排出ガスの抑制	109条	ドライブドクターを設置し、エコドライブ実践を周知していますか	○
	アイドリングストップの推進	110条		
大阪府環境基本条例	豊かな環境の保全及び創造に関する施策の実施	5条	環境クリーン活動は実施していますか。	○
生活環境の保全に関する条例	自動車NOxPM法の排ガス基準の順守		ドライブドクターを設置し、エコドライブ実践を周知していますか	○
福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	アイドリングストップなどのエコドライブの推進	38条	ドライブドクターを設置していますか	○
			エコドライブ実践を周知していますか	○
宮城県環境基本条例	アイドリングストップなどのエコドライブの推進	6条	ドライブドクターを設置していますか	○
			エコドライブ実践を周知していますか	○
名取市環境美化の促進に関する条例	環境美化の促進について被用者の啓発	3条	環境クリーン活動は実施していますか	○



代表者による全体の評価と見直しの結果

NTT東日本グループの一員として、NTTグループCSR重点活動項目である「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「生物多様性の保全」について取り組むべく、平成24年3月にエコアクション21の認証を取得し、活動を推進まいりました。

27年度の評価と昨年度からの見直し点については次のとおりです。

（27年度結果に基づく見直し）

平成27年度においては、社員一人ひとりが環境負荷低減に取り組むことを目標に、定性評価から定量評価方式による四半期単位での成果・振り返りを全部門で実施し、活動の見える化を通じて、活動の推進・更なる浸透を図りました。

全支店が共通に取り組むことが可能な指標として「自動車の燃費の向上によるCO2削減」及び「コピー用紙の削減（購入量）」を指標として設定し、全社を挙げて取り組みました。その結果は、全体目標に対する目標達成として表れています。

（全体評価）

平成27年度は、上記の取り組みに加え、社員が更に環境負荷低減を意識し、エコ人材として事業活動等を通じ、一人ひとりが持続可能な社会の実現に向け貢献していくとの観点から全社で「エコ検定」の取得を奨励し、取得者を拡大に取り組みました。また、社員の意識向上の観点から、屋上壁面緑化にも取り組みました。

環境目標については、水道使用量を除き、目標を達成しており、エコアクション21を活用した取り組みが定着しつつあると評価しています。

なお、次年度以降も、環境負荷低減に向け、エコ検定合格者拡大も含め、様々な取り組みを実施していくこととします。

（今後の主な取り組み）

「低炭素社会の実現」に向けた取り組み

- （1） 電気使用量削減については、夏場の節電対策を含め、各種節電対策を継続実施していく。
- （2） ガソリン使用量削減については、今後も、エコドライブの徹底など、社員のエコ運転意識の高揚に努める。

「循環型社会の形成」

- （1） リサイクルは、今後もきめ細かな分別化を徹底し、3R活動（リデュース、リユース、リサイクル）及びグリーン購入の推進に積極的に取り組んでいく。
- （2） 事務用紙の削減に向け、両面・集約印刷の励行及び会議のペーパーレス化に取り組む。

「生物多様性の保全」

「ビル周辺清掃活動」を継続的に実施し、地域社会の一員として持続可能な社会づくりに貢献する。

**REC
VALUE**

現場を知るプロの、先読みレンタル。